

海外誘客について

最後に、海外誘客にも“力を注ぎたい”と目標を定めております。

外国人宿泊数は、平成24年度に於いては、台湾 65,448 人、韓国 13,435 人、中国 12,915 人、香港 10,328 人、アメリカ 11,541 人、欧州計 18,940 人、その他計 24,459 人、合計 162,161 人であり、3 倍超の 500 千人を目標としております。

因みに、2013 年（H25）の東京都内主要 19 ホテルに於いては、訪日外国人数が 1 千万人を超え、稼働率を押し上げております。

1991 年（H3）バブル末期 82.5%から、2013 年には、平均客室稼働率 84.8%と上昇しています。

比較することは難しいことですが、金沢市内の宿泊施設従業員 10 人以上の客室稼働率は、平成22年12月が 48.5%と最低で、最高の9月が 66.7%でしたが、平成23年1月には 51.3%、9月が 72.3%、平成24年には、1月 56.0%、8月 80.0%、平成25年3月が 64.1%、8月が 76.8%と、平均でも平成22年の 59.2%から、平成23年は 61.2%、平成24年 68%、平成25年 69.4%と、徐々に稼働率が上昇しています。誠に喜ばしいことです。

来年の金沢開業以降には、20%以上、上乘せを目標に、稼働率のアップを図ることを、知事を先頭に、県民一体での全員野球で、臨むことを誓い合いながら、質問を終わります。